

公益財団法人不老会会員の皆様へ

当講座では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	頸部交感神経と腕神経叢を構成する頸神経との交通について
研究機関名	愛知医科大学医学部
研究機関の長	医学部長 若槻 明彦
担当科等	解剖学講座
研究責任者	助教 梅本 佳納榮
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	頸部の手術において前方からの外科的アプローチが行われることがありますが、神経や血管を損傷するリスクは高いです。特に頸部交感神経幹や腕神経叢は損傷するとホルネル症候群や上肢の運動障害を招く危険性があるため、注意すべき神経の1つです。そのため、頸部交感神経幹と腕神経叢を構成する頸神経との交通枝の理解は重要ですが、その詳細は未だ明らかになっておりません。本研究では、頸部交感神経幹と腕神経叢を構成する頸神経との交通枝を分類し、その頻度を明らかにすることで頸部の手術時の患者さんに対する治療に役立てたいと思っています。
対象となる患者さん	倫理審査承認日から2024年3月31日までに医学教育に使用される御献体
研究の方法	御献体の御遺体の頸部交感神経幹、神経節から「直接、頸神経に入るレベル」「椎骨動脈神経叢を介して頸神経に入るレベル」「椎前筋を通った後に椎骨動脈神経叢を介して頸神経に入るレベル」を観察します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：献体登録時の情報
外部への試料・情報の提供	【なし】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	本研究は講座等研究費で行う研究であり、利益相反の状態にはなりません。

問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 解剖学講座 担当者：助教 梅本 佳納榮 電話 0561-62-3311 (内線 12307)
--------	--